

による地域介入を行うことで、先行地域において特異的な変化が見られるか継続的な評価を行う必要がある。

12. 地域介入の成果（担当責任者：藤原佳典）

サポーター講座参加者の8割以上が地域介入の内容を「理解できた」と回答したことから、講座により地域で進める健康づくりの重要性と今後の地域介入計画を参加者に伝えることができたのではないかと考えられた。リーダー養成講座についても、58名がリーダー養成講座への参加意向を示し、リーダー養成講座受講候補者の把握を行うことができたと考えられる。

また、まちづくり検討会議の立ち上げにより、リーダー養成講座の運営や講座後のリーダーによる地域拠点活動を、会議メンバーと協力して進めていくことができる体制を整備することができた。

E. 結論

本研究では、地域住民との協働による介護予防推進と私的社会的統制を強めない新たな互助のための地域介入モデルを構築し、その都市高齢者の要介護発生への抑制効果について検証することを目的とした地域コントロールトライアルを行う。

研究初年度となる平成26年度は、ベースライン調査と先行地域における介護予防人材・ネットワークの基盤整備を実施し、ベースライン調査の結果から先行地域と後行地域の特性を把握するとともに、生活機能、社会参加、尿失禁、ヘルスリテラシー、首尾一貫感覚、受療行動、サルコペニア、栄養・口腔機能、フレイル、地域活動への意

向、日常活動範囲等の各指標に影響する要因を検討した。また、研究初年度の地域介入プロセスについても整理した。

今後は、主体的に地域介護予防活動を実施するリーダーを養成し、リーダーとコーディネーターが協働で、地域拠点活動を先行地域で立ち上げ、地域介入を進める。

引用文献

- 1) Portes, A., Landolt, P. The downside of social capital. *The American Prospect*, 26(May-June) :18-22, 1996
- 2) 杉澤秀博. 社会連帯の形成・維持機構の解明, 川上憲人(領域代表者), 現代社会の階層化の機構理解と格差の制御: 社会科学と健康科学の融合, 14-15, 2011
- 3) 河合恒, 光武誠吾, 福嶋篤, 小島基永, 大淵修一: 地域住民の主体的な介護予防活動推進のための取組「介護予防リーダー養成講座」の評価. *日本公衆衛生雑誌*, 60(4), 195-203, 2013
- 4) 福嶋篤, 河合恒, 光武誠吾, 大淵修一, 塩田琴美, 岡浩一朗: 地域在住高齢者による自主グループ設立過程と関連要因. *日本公衆衛生雑誌*, 61(1), 30-40, 2014
- 5) Fujiwara Y, Sakuma N, Ohba H, Nishi M, Lee S, Watanabe N, Kousa Y, Yoshida H, Fukaya T, Yajima S, Aman H, Kureta Y, Ishii K, Uchida H: Intergenerational health promotion program for older adults “REPRINTS”: the experience and its 21 months effects. *Journal of Intergenerational Relationship*, 7,

17-39, 2009

- 6) Ohara Y, Hirano H, Watanabe Y, Obuchi S, Yoshida H, Fujiwara Y, Ihara K, Kawai H, Mataka S: Factors associated with self-rated oral health among community-dwelling older Japanese: A cross-sectional study. *Geriatr Gerontol Int.* 2014 Sep 20. doi: 10.1111/ggi.12345. [Epub ahead of print]
- 7) Fujiwara Y, Suzuki H, Kawai H, Hirano H, Yoshida H, Kojima M, Ihara K, Obuchi S: Physical and Socio-psychological Characteristics of Older Community Residents With Mild Cognitive Impairment as Assessed by the Japanese Version of the MoCA. *J Geriatr Psychiatr Neurol.* 26: 209-220, 2013
- 8) Cruz-Jentoft AJ et al: Sarcopenia: European consensus on definition and diagnosis Report of the European Working Group on Sarcopenia in Older People. *Age and Ageing*, 39(4), 412-423, 2010
- 9) Fried LP, Tangen CM, Walston J, et al: Frailty in older adults: evidence for a phenotype. *J Gerontol A Biol Sci Med Sci*, 56(3):146-156, 2001

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Seino S, Shinkai S, Fujiwara Y,

Obuchi S, Yoshida H, Hirano H, Kim HK, Ishizaki T, Takahashi R: TMIG-LISA Research Group.: Reference values and age and sex differences in physical performance measures for community-dwelling older Japanese: a pooled analysis of six cohort studies. *PLoS One.* 2014; 9(6): e99487.

- 2) Ohara Y, Hirano H, Watanabe Y, Obuchi S, Yoshida H, Fujiwara Y, Ihara K, Kawai H, Mataka S.: Factors associated with self-rated oral health among community-dwelling older Japanese: A cross-sectional study. *Geriatr Gerontol Int.* (in Press.)
- 3) Kuroda A, Tanaka T, Hirano H, Ohara Y, Kikutani T, Furuya H, Obuchi SP, Kawai H, Ishii S, Akishita M, Tsuji T, Iijima K.: Eating Alone as Social Disengagement is Strongly Associated With Depressive Symptoms in Japanese Community-Dwelling Older Adults. *J Am Med Dir Assoc.* (in Press.)

2. 学会発表

- 1) 大淵修一, 藤原佳典, 河合 恒, 吉田英世, 小島基永, 平野浩彦, 石崎達郎, 荒木 厚, 小山照幸, 杉江正光, 田中 雅嗣: 高齢者の不安に影響を与える要因 社会参加と交流. 第49回日本理学療法学会大会, 2014.
- 2) 新井武志, 大淵修一, 河合恒: 要支援者の認定状況の悪化に関連する要因の分

- 析.第 49 回日本理学療法学会, 2014.
- 3) 平野浩彦, 渡邊 裕, 小原由紀, 枝広あや子, 藤原佳典, 河合 恒, 吉田英世, 井原一成, 大瀨修一, 金 憲経: 8020 運動達成後の高齢者咀嚼機能低下のリスク因子としてサルコペニアの可能性. 第 56 回日本老年医学会学術集会, 2014.
- 4) 飯島勝矢, 田中友規, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大瀨修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 秋下雅弘, 大内尉義: サルコペニア危険度に対する自己評価法の開発 新考案『指輪っかテスト』の臨床的妥当性の検証. 第 56 回日本老年医学会学術集会, 2014.
- 5) 飯島勝矢, 田中友規, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大瀨修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 秋下雅弘, 大内尉義: 日本人におけるサルコペニアおよび予備群の関連因子の同定 千葉県柏市における大規模健康調査から. 第 56 回日本老年医学会学術集会, 2014.
- 6) 杉江正光, 原田和昌, 高橋哲也, 小山照幸, 大瀨修一, 金 憲経, 許 俊鋭, 井藤英喜: 外来通院高齢者における心肺運動負荷試験を用いたサルコペニア診断の可能性. 第 56 回日本老年医学会学術集会, 2014
- 7) 杉江正光, 原田和昌, 高橋哲也, 小山照幸, 大瀨修一, 金 憲経, 許 俊鋭, 井藤英喜: 高齢者のサルコペニアと心肺運動機能との関係. 第 56 回日本老年医学会学術集会, 2014.
- 8) 小島成実, 金美芝, 吉田英世, 平野浩彦, 大瀨修一, 島田裕之, 鈴木隆雄, 金

憲経: 後期高齢期における膝伸展力の変化に関連する生活習慣の解明. 第 56 回日本老年医学会学術集会, 2014.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

II. 委託業務成果報告（業務項目）

地域介入研究における先行介入群と後行介入群との比較に関する研究

担当責任者 吉田英世 東京都健康長寿医療センター研究所

研究要旨

本研究の目的は、地域住民との協働による介護予防のまちづくりによる地域介入を目指す上で、介入研究の対象地域となる、先行介入地域（先行群）と、後行介入地域（後行群）間において、事前の郵送調査および会場調査より、その社会的、身体的、精神的な状態を比較検証することである。

対象者は、東京都豊島区菊かおる園地域包括支援センター所管地域（西巣鴨、巣鴨、北大塚地区）在住の65～84歳高齢者約6,000名である。対象者全員に、郵送によるアンケート調査を行い、このうち希望者に会場調査（招待型健診）を実施した。郵送調査の有効回答者は2,524名で、先行群；1,203名、後行群；1,321名であった。また、会場調査の受診者は549名で、先行群；286名、後行群；263名であった。

郵送調査および、会場調査による、調査・測定項目について、先行群、後行群間で比較検討した。その結果、郵送調査では、後行群は、先行群に比べて、日常生活における社会参加・地域活動（防犯など）や、諸団体への加入率が高く、また、社会関係資本においては、社会的凝集性や社会的統制が高く、ジェネラティビティの意識も高かった。さらに、後行群では、一人暮らしが少なく（世帯人数が多い）、世帯収入も高い傾向にあった。

会場調査では、後行群が、先行群に比べて、身体的には、体脂肪率が高く、心理・精神面では、精神的健康度や生活満足度が高かった。

このような実情を踏まえて、来年度以降の地域介入の方策と評価を考慮する必要がある。

A. 研究目的

本研究の目的は、来年度以降実施する地域住民との協働による介護予防のまちづくりによる地域介入を目指す上で、介入研究の対象地域となる、先行介入地域と、同対照地域間において、事前の郵送調査および会場調査より、その社会的、身体的、精神的な状態を比較検証することである。

B. 研究方法

本研究では、地域介入によって、地域在住高齢者の心身機能や社会生活機能がどのように変化するのかを継続的に評価するために、「豊島区シニア心と体の健康調査」を実施した。

1. 対象者

豊島区菊かおる園地域包括支援センター所管地域（西巣鴨1～4丁目、巣鴨3～5丁目、北大塚1～2丁目）を対象地域とし、こ

の地域に居住し、2014年11月1日現在65～84歳の高齢者全員で施設入所者を除く6,158名を対象者として抽出した。

2. 先行地域・後行地域の設定

本研究では地域介入研究を行うため、対象地域を先に介入を行う先行地域（以下；先行群）と最初は観察地域とし、後に介入を行う後行地域（以下；後行群）とに分けた。具体的には、対象地域の西側の地域（西巢鴨1～4丁目、北大塚2丁目）を先行地域、東側の地域（巢鴨3～5丁目、北大塚1丁目）を後行地域とした。

3. 郵送調査

対象者に対して、健康度自己評価、現有病、生活機能、要介護度、社会活動状況、社会関係資本などについての郵送調査票を発送し、回答を依頼した結果、2,526名から回答を得た（回収率41.0%）。調査票回収期間は2014年10月6日～2014年12月24日であった。

4. 会場調査

郵送調査発送時に会場調査参加者を募集した。760名が応募し（応募率12.3%）、このうち549名が実際に会場調査へ参加した（参加率72.2%）。会場調査では、身体組成、生活問診、運動機能、口腔機能、認知機能などの詳細な調査を行った。

5. 解析方法

前述の郵送調査および会場調査で行った、調査・測定項目について、先行群と後行群間で、質問票等のカテゴリ値はカイ二乗検定を行い、単一回答のクロス表全体で検

定した後、有意（ $p<0.05$ ）もしくは有意な傾向（ $p<0.1$ ）の場合、各質問カテゴリ毎（行%）で検定した。一方、複数回答の項目および便宜的に質問項目をまとめ複数回答とした項目に関しては、各質問カテゴリ毎（行%）について検定した。

一方、測定値や評価尺度の合計点は、 t 検定によって評価した。

（倫理面への配慮）

本研究計画については、所属機関の倫理委員会において審査され、承認を受けた（承認番号：平成26年度「32」）。

郵送調査は、調査票に同意署名欄を設け、会場調査では、受診者に健康情報（健診結果と聞き取り調査などの回答内容）の研究への使用に関して説明し、書面にて同意署名を得た。

健診および調査参加者の個人情報保護のために、データは個人名を用いることなく、データ解析用に設定した番号を用いて、データ結合ならびに統計解析を行った。

C. 研究結果

1. 郵送調査

郵送調査の有効回答者は、2,524名であった。このうち先行群；1,203名、後行群；1,321名であった。また、男女比は、先行群；男性512名（42.6%）、女性691名（57.4%）、後行群；男性543名（41.1%）、女性778名（58.9%）で、両群間に、男女比に有意差はなかった。

また、年齢（平均年齢±標準偏差）は、先行群；男性72.6±5.4歳、女性73.9±5.5歳、後行群；男性73.2±5.4歳、女性73.5±5.4歳で、男女それぞれ、両群間に、年齢に有

意差はなかった。

郵送調査の調査・測定結果は、男女、先行群、後行群別に集計した（郵送調査；表1～表33）。

以下に、先行群と後行群（男女計）について比較し、統計学的に有意差（ $p < 0.05$ ）および、有意な傾向（ $p < 0.1$ ）のあった質問・測定項目を列挙する。

・問3；『現在治療中の病気』は、4.「肝臓病（既往あり）」が、先行群；4.1%、後行群；2.5%で、先行群が有意に高かった。

・問7；『日常生活』は、17.「孫や家族、知人の世話」が、先行群；50.9%、後行群；57.8%、18.「地域のお祭りや行事などへの参加」が、先行群；31.4%、後行群；38.3%、19.「町内会・自治会での活動」が、先行群；19.1%、後行群；27.5%、20.「自治会やグループ活動の世話役や役職の引き受け」が、先行群；34.5%、後行群；39.1%と、いずれも後行群が有意に高かった。

・問9；『グループや団体への加入』は、1.「入っていない」が、先行群；33.2%、後行群；28.9%と、先行群が有意に高かった。一方、2.「町内会・自治会への加入」は、先行群；23.1%、後行群；32.3%、3.「老人会・老人クラブへの加入」は、先行群；5.2%、後行群；8.5%と、いずれも後行群が有意に高かった。

・問10；『地域や社会への貢献活動』(3)『地域の交通安全、防犯、防災等の活動』は、両群間で有意差があり、特に1.「この1年の活動」は、先行群；13.3%、後行群；18.8%と、後行群が有意に高かった。同(4)『住民の健康維持・増進のための活動の世話や手伝い』は、両群間で有意な傾向差があり、特に、1.「この1年の活動」は、先行群；

3.8%、後行群；6.1%と、後行群が有意に高かった。

・問11；『同居者（続柄）』は、1.「一人暮らし」が、先行群；26.6%、後行群；21.7%と、先行群が有意に高かった。一方、5.「子の配偶者」は、先行群；7.3%、後行群；9.9%と、後行群が有意に高かった。

・問12；『別居の家族や親戚と、電話で話すこと』は、両群間で有意な傾向差があり、特に、「まったくない」は、先行群；6.0%、後行群；3.8%と、先行群が有意に高かった。

・問14；『個人的なソーシャルサポート』(1)『あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人』は、2.「同居の子ども」が、先行群；16.9%、後行群；23.1%と、後行群が有意に高かった。同(2)『病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人』は、2.「同居の子ども」が、先行群；22.2%、後行群；27.5%と、後行群が有意に高かった。一方、7.「いない」は、先行群；11.9%、後行群；9.1%と、先行群が有意に高かった。

・問16；『社会関係資本（社会的凝集性）』(2)『地域の人々は結束が強い』は、両群間で有意差があり、特に「どちらかというと思う」は、先行群；19.6%、後行群；24.5%と、後行群が有意に高かった。同(4)『地域の人々はお互いにあまりうまくいっていない』は、両群間で有意差があり、「どちらともいえない」、先行群；53.2%、後行群；48.9%と、先行群が有意に高かった。一方、「そう思わない」は、先行群；20.2%、後行群；24.9%と、後行群が有意に高かった。

・問17；『社会関係資本（社会的統制）』(5)『地域の人々は、最寄の集会所が閉鎖されそうになったら廃止されないように行

動する』は、両群間で有意差があり、「そう思う」が、先行群；13.3%、後行群；17.7%と、後行群が有意に高かった。一方、「どちらともいえない」は、先行群；48.8%、後行群；43.6%と、先行群が有意に高かった。

・問 19；『短縮版 Generativity』(2)『自分の経験や知識を人に伝えようとしている』は、両群間で有意な傾向差があり、特に「あまり当てはまらない」は、先行群；20.9%、後行群；17.2%と、先行群が有意に高かった。同 (3)『無理の無い範囲で募金がしたい』は、両群間で有意差があり、「やや当てはまる」が、先行群；25.9%、後行群；32.8%と、後行群が有意に高かった。一方、「あまり当てはまらない」は、先行群；17.1%、後行群；13.9%と、先行群が有意に高かった。同 (4)『私が人のためにしてきたことは、後世にも残ると思う』は、両群間で有意差があり、特に「全く当てはまらない」は、先行群；23.9%、後行群；17.5%と、先行群が有意に高かった。同 (5)『何かに向かって前進していると感じる』は、両群間で有意差があり、特に「あまり当てはまらない」は、先行群；16.7%、後行群；13.6%と、先行群が有意に高かった。

・問 22；(1)『自分にはいろいろな良い素質があると思う』は、両群間で有意差があり、特に「非常に当てはまる」は、先行群；3.3%、後行群；5.2%と、後行群が有意に高かった。

・問 25；『現在、収入を伴う仕事』は、両群間で有意差があり、特に「仕事はしていないが、仕事を探している」は、先行群；6.1%、後行群；3.8%と、先行群が有意に高かった。

・問 27；『生計を共にしている世帯人数(平

均値±標準偏差)』は、先行群；2.1±1.1人、後行群；2.2±1.1人と、後行群が有意に高かった。

・問 28；『1年間の世帯の合計収入』は、両群間で有意な傾向差があり、特に「1,000万円以上」は、先行群；3.4%、後行群；5.9%と、後行群が有意に高かった。

・問 32；『近隣の高齢者で区役所などに連絡した方が良いと思った方』(2)『家族から暴力・暴言や見過ごせない不適切な介護を受けている可能性がある方』は、両群間で有意な傾向差があり、特に「連絡した」は、先行群；0.7%、後行群；0.1%と、先行群が有意に高かった。

2. 会場調査

会場調査の受診者は549名であった。このうち先行群；286名、後行群；263名であった。男女比は、先行群；男性103名(36.0%)、女性183名(64.0%)、後行群；男性84名(31.9%)、女性179名(68.1%)で、両群間に、男女比に有意差はなかった。

また、年齢(平均年齢±標準偏差)は、先行群；男性73.1±5.8歳、女性74.3±5.0歳、後行群；男性75.0±5.8歳、女性73.7±5.3歳で、男性は、後行群は、先行群よりも有意に年齢が高かったが、女性は、両群間に有意差はなかった。

会場調査の調査・測定結果は、男女、先行群、後行群別に集計した(会場調査；表1～表24)。

以下に、先行群と後行群(男女計)について比較し、統計学的に有意差($p<0.05$)および、有意な傾向($p<0.1$)のあった質問・測定項目を列挙する。

身体計測では、体脂肪率(平均値±標準偏

差)が、先行群; 26.9±9.1%、後行群; 29.2±7.5%と、後行群が高かった。

アンケート調査では、精神的健康度; WHO-5 合計点(平均値±標準偏差)が、先行群; 18.3±4.4 点、後行群; 19.1±4.2 点と、後行群が有意に高かった。生活満足度; LSIK 合計点(平均値±標準偏差)が、先行群; 5.0±2.3 点、後行群; 5.6±2.1 点と、後行群が有意に高かった。

また、『ふだんの体の痛み(あり)』は、1.「頭」が、先行群; 22.1%、後行群; 9.2%、3.「肩関節」が、先行群; 31.9%、後行群; 20.0%と、いずれも、先行群が有意に高かった。

以上より、郵送調査では、後行群は、先行群に比べて、日常生活における社会参加・地域活動(防犯など)や、諸団体への加入率が高く、また、社会関係資本においては、社会的凝集性や社会的統制が高く、Generativity(ジェネラティビティ; 次世代の価値を生み出す行為に積極的に関わって行くこと)の意識も高い。さらに、後行群では、一人暮らしが少なく(世帯人数が多い)、世帯収入も高い傾向にあった。

会場調査では、後行群が、先行群に比べて、身体的には、体脂肪率が高く、心理・精神面では、精神的健康度や生活満足度の得点が高いことが明らかとなった。

D. 考察

本研究は、地域住民との協働による介護予防のまちづくりによる介入を目指した地域介入研究である。

鎌田¹⁾によれば、地域介入の方法として、①ソーシャル・マーケティング(商業分野のマーケティング技術を応用して、健康教

育プログラムを計画、実施、評価すること)、②ネットワーク理論(人と人とのつながりが、人々の様々な行動や健康状態に影響を与える保健活動)、③生態学モデル(個人要因に加えて環境要因[社会的、物理的、政策的]が、人々の行動に及ぼす影響を考慮)を挙げている²⁾。まさに、本研究の地域介入は、これらの方法を包含したもので、住民の中から介護予防の知識を有し、活動のサポートができる「介護予防サポーター」の養成を行い、当研究班からの介護予防コーディネーターとともに小規模なグループ(班)を構成し、地域で運動、口腔・栄養、認知機能、社会参加などの活動を行い、地域全体への波及を目指すものである。

この地域介入では、事前に設定した2地区を任意に、先行介入群(後行対照群)、後行介入群(先行対照群)として割り付けたもので、ランダム化割り付け試験の範疇に入るものであるが、対象地域を数多くしたクラスター・ランダム化比較試験には及ばない。

本報告で検証した研究対象の2地域(先行群、後行群)の事前調査(郵送調査、会場調査)の現状では、結果で述べたとおり、先行群は、後行群に比べて、社会参加・活動性、地域の連携・結束力がやや弱く、心理・精神面のQOLもやや低い傾向にあった。

これらの点を踏まえながら、来年度以降実施予定の介入先行群に対する地域介入においては、まずは、社会参加・地域活動への取り組みの底上げを図りながら、人と人とのつながりを強化して、介護予防サポーターを中心とした介入プログラムを展開していくことが必要十分なことと考えられる。

E. 結論

地域介入を目指した介入研究の対象地域の先行介入地域（先行群）と、後行介入地域（後行群）間において、事前の郵送調査および会場調査による調査・測定項目を比較検討した。

その結果、郵送調査では、後行群は、先行群に比べて、日常生活における社会参加・地域活動や、諸団体への加入率が高く、また、社会関係資本；社会的凝集性や社会的統制が高く、一人暮らしが少なかった（世帯人数が多い）。会場調査では、後行群が、先行群に比べて、身体的には、体脂肪率が高く、心理・精神面では、精神的健康度や生活満足度が高かった。

隆雄：地域在住高齢者における骨粗鬆症（低骨量）が動脈硬化性疾患の発症に及ぼす影響。第16回日本骨粗鬆症学会，東京，2014.10.23-25.

- 2) 吉田英世, 井原一成, 島田裕之, 吉田祐子, 小島成実, 金美芝, 平野浩彦, 金憲経, 長谷川千絵, 飯田浩毅, 天野雄一, 端詰勝敬, 蜂須貢: 地域高齢者の脳神経由来栄養因子の血清濃度はうつ病発症後低下する. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014.11.5-7.

引用文献

- 1) 鎌田真光：身体活動を促進するポピュレーション戦略のエビデンスをいかに作るか？—ポピュレーション介入研究に関わる理論と枠組み—, 運動疫学研究, 15(2), 61-70, 2013

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Iwasa H, Kai I, Yoshida Y, Suzuki T, Kim H, Yoshida H: Information processing speed and 8-year mortality among community-dwelling elderly Japanese., J Epidemiol. 24(1), 52-9, 2014.

2. 学会発表

- 1) 吉田英世, 金憲経, 吉田祐子, 小島成実, 金美芝, 清水容子, 平野浩彦, 鈴木

表1

	男性				女性				計			
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
問2.あなたはふだんご自分で健康だと思いますか。	57	12.2%	66	13.1%	59	9.5%	78	10.8%	116	10.7%	144	11.7%
	329	70.3%	330	65.3%	420	68.0%	506	70.1%	749	69.0%	836	68.1%
	58	12.4%	76	15.0%	113	18.3%	106	14.7%	171	15.7%	182	14.8%
	24	5.1%	33	6.5%	26	4.2%	32	4.4%	50	4.6%	65	5.3%

注) N.S.

表2

	男性				女性				計				
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
問3.現在、次のような病気の治療を受けていますか。(複数回答)	88	18.2%	90	17.7%	96	15.0%	103	14.4%	184	16.4%	193	15.8%	注) N.S.
問3.0.治療中の病気はない	191	39.5%	222	43.7%	261	40.8%	310	43.2%	452	40.3%	532	43.4%	注) N.S.
問3.1.高血圧	88	18.2%	101	19.9%	74	11.6%	73	10.2%	162	14.4%	174	14.2%	注) N.S.
問3.2.糖尿病	22	4.6%	32	6.3%	34	5.3%	24	3.3%	56	5.0%	56	4.6%	注) N.S.
問3.3.脳卒中	27	5.6%	40	7.9%	34	5.3%	27	3.8%	61	5.4%	67	5.5%	注) N.S.
問3.4.がん	20	4.1%	14	2.8%	26	4.1%	15	2.1%	46	4.1%	29	2.4%	注) p<0.05
問3.5.肝臓病	77	15.9%	84	16.5%	68	10.6%	61	8.5%	145	12.9%	145	11.8%	注) N.S.
問3.6.心臓病	147	30.4%	163	32.1%	219	34.3%	250	34.9%	366	32.6%	413	33.7%	注) N.S.
問3.7.歯科疾患	65	13.5%	76	15.0%	195	30.5%	224	31.2%	260	23.2%	300	24.5%	注) N.S.
問3.8.整形外科疾患	85	17.6%	92	18.1%	152	23.8%	145	20.2%	237	21.1%	237	19.3%	注) N.S.
問3.9.その他													

表3

	男性				女性				計			
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
問4. あなたの日常の移動能力は、1～6のどれにも つとも近いですか。	455	93.8%	478	92.6%	587	91.1%	674	91.1%	1042	92.3%	1152	91.7%
自転車、車、バス、電 車を使ってひとりで外 出できる	17	3.5%	22	4.3%	40	6.2%	45	6.1%	57	5.0%	67	5.3%
家庭内および隣近所 では、ほぼ不自由なく 動き活動できるが、ひと りで遠出はできない	5	1.0%	9	1.7%	8	1.2%	7	.9%	13	1.2%	16	1.3%
少しは動ける	5	1.0%	3	.6%	4	.6%	8	1.1%	9	.8%	11	.9%
起きてはいるが、あまり 動けない	3	.6%	3	.6%	4	.6%	6	.8%	7	.6%	9	.7%
寝たり起きたり	0	.0%	1	.2%	1	.2%	0	.0%	1	.1%	1	.1%
寝たきり												

注) N.S.

表4

	男性				女性				計			
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
問5.現在、どのくらいのも のが噛めますか。	255	52.1%	252	48.6%	358	54.4%	428	57.4%	613	53.4%	680	53.8%
どんなものでも、欲しい ものを噛んで食べられる												
噛みにくいものもある が、たいていものは食 べられる	215	44.0%	236	45.6%	281	42.7%	291	39.0%	496	43.2%	527	41.7%
あまり噛めないで、食 べ物が限られている	19	3.9%	29	5.6%	18	2.7%	25	3.4%	37	3.2%	54	4.3%
ほとんど噛めない	0	.0%	1	.2%	0	.0%	2	.3%	0	.0%	3	.2%
まったく噛めずに、流動 食（ミキサー食）を食べ ている	0	.0%	0	.0%	1	.2%	0	.0%	1	.1%	0	.0%

注) N.S.

表5

	男性				女性				計				
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
問6.次にあげる食品を普 通に噛み切れますか。	384	81.0%	386	77.4%	500	79.4%	574	78.8%	884	80.1%	960	78.2%	注) N.S.
問6.(1)「さきいか」「た くあん」くらいの固さ													
問6.(2)「生にんじん」「セ ロリ」くらいの固さ	351	74.1%	356	71.3%	444	70.5%	523	71.8%	795	72.0%	879	71.6%	注) N.S.
問6.(3)「油あげ」「白菜 つけもの」くらいの固さ	369	77.8%	383	76.8%	467	74.1%	566	77.7%	836	75.7%	949	77.3%	注) N.S.
問6.(4)「ごはん」くらい の固さ	370	78.1%	388	77.8%	457	72.5%	555	76.2%	827	74.9%	943	76.9%	注) N.S.
問6.(5)「バナナ」くらい の固さ	368	77.6%	381	76.4%	456	72.4%	554	76.1%	824	74.6%	935	76.2%	注) N.S.

表6

		男性				女性				計				
		先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群		
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
問7.あなたの日常生活についておうかがいします。	問7.(1)バスや電車を使って一人で外出できますか	478	97.2%	497	96.1%	635	95.3%	720	95.5%	1113	96.1%	1217	95.8%	注) N.S.
	問7.(2)日用品の買い物ができますか	479	97.4%	501	96.9%	648	97.3%	742	98.4%	1127	97.3%	1243	97.8%	注) N.S.
	問7.(3)自分で食事の用意ができますか	451	91.7%	452	87.4%	655	98.3%	740	98.1%	1106	95.5%	1192	93.8%	注) N.S.
	問7.(4)請求書の支払いができますか	475	96.5%	498	96.3%	644	96.7%	740	98.1%	1119	96.6%	1238	97.4%	注) N.S.
	問7.(5)銀行預金、郵便貯金の出し入れが自分でできますか	466	94.7%	489	94.6%	650	97.6%	733	97.2%	1116	96.4%	1222	96.1%	注) N.S.

表6 (続1)

		男性				女性				計				
		先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群		
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
問7.あなたの日常生活についておうかがいします。	問7.(6)携帯電話を使うことができますか	429	86.1%	438	83.9%	542	80.9%	642	84.4%	971	83.1%	1080	84.2%	注) N.S.
	問7.(7)ATMを使うことができますか	431	86.5%	443	84.9%	576	86.0%	644	84.6%	1007	86.2%	1087	84.7%	注) N.S.
	問7.(8)ビデオやDVDプレイヤーの操作ができますか	387	77.7%	404	77.4%	383	57.2%	439	57.7%	770	65.9%	843	65.7%	注) N.S.
	問7.(9)携帯電話やパソコンのメールができますか	327	65.7%	327	62.6%	402	60.0%	460	60.4%	729	62.4%	787	61.3%	注) N.S.
	問7.(10)外国のニュースや出来事に関心がありますか	458	92.0%	475	91.0%	586	87.5%	675	88.7%	1044	89.4%	1150	89.6%	注) N.S.

問7.(11)健康に関する情報の信ぴょう性について判断できますか	457	91.8%	477	91.4%	617	92.1%	696	91.5%	1074	92.0%	1173	91.4%	注) N.S.
問7.(12)美術品、映画、音楽を鑑賞することがありますか	393	78.9%	414	79.3%	546	81.5%	632	83.0%	939	80.4%	1046	81.5%	注) N.S.
問7.(13)教育・教養番組を視聴していますか	341	68.5%	345	66.1%	477	71.2%	570	74.9%	818	70.0%	915	71.3%	注) N.S.
問7.(14)詐欺、ひったくり、空き巣等の被害にあわないように対策をしていますか	393	78.9%	413	79.1%	587	87.6%	668	87.8%	980	83.9%	1081	84.3%	注) N.S.
問7.(15)生活の中でちょっとした工夫をすることがありますか	412	82.7%	422	80.8%	565	84.3%	653	85.8%	977	83.6%	1075	83.8%	注) N.S.
問7.(16)病人の看病ができますか	341	68.5%	349	66.9%	447	66.7%	551	72.4%	788	67.5%	900	70.1%	注) N.S.
問7.(17)孫や家族、知人の世話をしていますか	221	44.4%	270	51.7%	374	55.8%	471	61.9%	595	50.9%	741	57.8%	注) p<0.05
問7.(18)地域のお祭りや行事などに参加していますか	147	29.5%	190	36.4%	220	32.8%	302	39.7%	367	31.4%	492	38.3%	注) p<0.05
問7.(19)町内会・自治会で活動していますか	101	20.3%	140	26.8%	122	18.2%	213	28.0%	223	19.1%	353	27.5%	注) p<0.05
問7.(20)自治会やグループ活動の世話役や役職を引き受けることができますか	197	39.6%	229	43.9%	206	30.7%	273	35.9%	403	34.5%	502	39.1%	注) p<0.05
問7.(21)奉仕活動やボランティア活動をしていますか	99	19.9%	132	25.3%	145	21.6%	175	23.0%	244	20.9%	307	23.9%	注) N.S.

表6 (続2)

			男性				女性				計			
			先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
問7.あなたの日常生活についておうかがいします。	問7.(22)この1年間に転んだことがありますか	はい	103	20.7%	125	24.0%	139	20.9%	180	23.8%	242	20.8%	305	23.9%
		いいえ	395	79.3%	395	76.0%	527	79.1%	577	76.2%	922	79.2%	972	76.1%

注) N.S.

表7

		男性				女性				計			
		先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
問8.ふだん、買い物、散歩、通院などで外出する頻度はどれくらいですか	毎日2回以上	226	46.0%	213	41.2%	253	38.3%	275	36.5%	479	41.6%	488	38.4%
	毎日1回	176	35.8%	198	38.3%	271	41.0%	318	42.2%	447	38.8%	516	40.6%
	2~3日に1回程度	53	10.8%	59	11.4%	92	13.9%	110	14.6%	145	12.6%	169	13.3%
	1週間に1回程度	20	4.1%	21	4.1%	21	3.2%	29	3.9%	41	3.6%	50	3.9%
	月1~2回程度	13	2.6%	20	3.9%	18	2.7%	19	2.5%	31	2.7%	39	3.1%
	年に数回程度	0	.0%	2	.4%	1	.2%	1	.1%	1	.1%	3	.2%
	ほとんど外出しない	3	.6%	4	.8%	5	.8%	1	.1%	8	.7%	5	.4%

注) N.S.

表8

		男性				女性				計				
		先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群		
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
問9.あなたは、次のようなグループや団体に入っていますか。 (複数回答)	問9.1.入っていない	178	39.0%	161	33.7%	181	29.0%	183	25.7%	359	33.2%	344	28.9%	注) p<0.05
	問9.2.町内会・自治会	110	24.1%	147	30.8%	139	22.3%	237	33.3%	249	23.1%	384	32.3%	注) p<0.05
	問9.3.老人会・老人クラブ	16	3.5%	28	5.9%	40	6.4%	73	10.3%	56	5.2%	101	8.5%	注) p<0.05
	問9.4.趣味関係のグループ	97	21.3%	136	28.5%	254	40.7%	285	40.1%	351	32.5%	421	35.4%	注) N.S.
	問9.5.スポーツ関係のグループやクラブ	98	21.5%	108	22.6%	202	32.4%	210	29.5%	300	27.8%	318	26.7%	注) N.S.
	問9.6.ボランティアのグループ	33	7.2%	43	9.0%	55	8.8%	77	10.8%	88	8.1%	120	10.1%	注) N.S.
	問9.7.政治関係の団体や会	15	3.3%	30	6.3%	17	2.7%	15	2.1%	32	3.0%	45	3.8%	注) N.S.
	問9.8.業界団体・同業者団体	56	12.3%	69	14.4%	15	2.4%	19	2.7%	71	6.6%	88	7.4%	注) N.S.
	問9.9.宗教関係の団体や会	31	6.8%	28	5.9%	41	6.6%	69	9.7%	72	6.7%	97	8.2%	注) N.S.
	問9.10.その他のグループや団体	40	8.8%	43	9.0%	41	6.6%	40	5.6%	81	7.5%	83	7.0%	注) N.S.

表9-1

	男性				女性				計					
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群			
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
問10.あなたは、この1年間に、次のような地域活動やボランティアをしましたか。	問10.(1)児童館などで子どもと遊んだり、子どもを預かったりする、地域の子育て支援	この1年に活動した	14	3.3%	15	3.3%	23	4.4%	34	5.5%	37	3.9%	49	4.6%
		していないが、機会があればやりたい	102	24.3%	124	27.6%	158	30.4%	175	28.5%	260	27.7%	299	28.1%
		していないし、したいとは思わない	303	72.3%	310	69.0%	338	65.1%	405	66.0%	641	68.3%	715	67.3%

注) N.S.

表9-2

	男性				女性				計					
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群			
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
問10.あなたは、この1年間に、次のような地域活動やボランティアをしましたか。	問10.(2)道路や公園の掃除、町に花や緑を増やす活動、町並み保存など、地域環境保全活動	この1年に活動した	54	12.6%	53	11.7%	53	9.9%	79	12.6%	107	11.1%	132	12.3%
		していないが、機会があればやりたい	175	40.9%	190	42.0%	233	43.7%	264	42.2%	408	42.5%	454	42.2%
		していないし、したいとは思わない	199	46.5%	209	46.2%	247	46.3%	282	45.1%	446	46.4%	491	45.6%

注) N.S.

表 9-3

	男性				女性				計			
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
問10.あなたは、この1年間に、次のような地域活動やボランティアをしましたか。	66	15.4%	86	18.6%	59	11.5%	117	19.0%	125	13.3%	203	18.8%
問10.(3)地域の交通安全、防犯、防災等の活動	152	35.4%	158	34.1%	137	26.8%	136	22.1%	289	30.7%	294	27.3%
この1年に活動した していないが、機会があればやりたい	211	49.2%	219	47.3%	316	61.7%	362	58.9%	527	56.0%	581	53.9%
していないし、したいとは思わない												

注) p<0.05

注) p<0.05

表 9-4

	男性				女性				計			
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
問10.あなたは、この1年間に、次のような地域活動やボランティアをしましたか。	11	2.6%	27	6.1%	24	4.8%	37	6.2%	35	3.8%	64	6.1%
問10.(4)住民の健康維持・増進のための活動の世話役や手伝い	145	34.6%	158	35.4%	165	32.8%	197	32.9%	310	33.6%	355	34.0%
この1年に活動した していないが、機会があればやりたい	263	62.8%	261	58.5%	314	62.4%	365	60.9%	577	62.6%	626	59.9%
していないし、したいとは思わない												

注) p<0.05

注) p<0.1

表 9-5

	男性		女性				計							
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群			
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
問10.あなたは、この1年間に、次のような地域活動やボランティアをしましたか。	問10.(5)高齢者や障害者に対するボランティア	この1年に活動した	20	4.8%	29	6.5%	47	9.2%	63	10.4%	67	7.2%	92	8.7%
		していないが、機会があればやりたい	124	29.5%	147	33.0%	156	30.4%	192	31.6%	280	30.0%	339	32.2%
		していないし、したいとは思わない	277	65.8%	269	60.4%	310	60.4%	353	58.1%	587	62.8%	622	59.1%

注) N.S.

表 9-6

	男性		女性				計							
	先行群		後行群		先行群		後行群		先行群		後行群			
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
問10.あなたは、この1年間に、次のような地域活動やボランティアをしましたか。	問10.(6)趣味や仕事で得た知識・技術を人に教えた	この1年に活動した	40	9.5%	49	10.7%	57	10.9%	75	12.3%	97	10.2%	124	11.6%
		していないが、機会があればやりたい	151	35.8%	174	38.2%	130	24.8%	155	25.5%	281	29.7%	329	30.9%
		していないし、したいとは思わない	231	54.7%	233	51.1%	338	64.4%	379	62.2%	569	60.1%	612	57.5%

注) N.S.